

2006年 6月 9日  
MR/J21/06



UNITED NATIONS  
UNIVERSITY

メディア用原稿  
非公式記録

国際連合大学 広報部

〒150-8925

東京都渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811

Fax: 03-3499-2828

E-mail: media@unu.edu

Website: http://www.unu.edu/

## 前外務報道官の高島肇久氏

国連大学学長の特別顧問に就任

国際連合のシンクタンクである国連大学（東京 渋谷）のハンス・ヒンケル学長はこのほど、同大学の広報体制を強化するため、昨年7月末まで外務省で報道官を務めた高島肇久氏を広報、メディア関係担当の学長特別顧問に任命した。

高島氏はNHKで海外特派員、ニュースキャスター、特別主幹等を歴任した後、2000年から2年間、東京の国連広報センター所長として国際連合のPRを担当。2002年には、ジャーナリスト出身者としては史上初めて外務省の外務報道官に就任して日本外交のスポークスマン役をつとめた。

国連大学は、1975年に東京を本拠地として設立されて以来、日本に本部があるただひとつの国連機関として、平和、安全保障、環境、開発など人類が直面する諸問題の解決に向けて、世界の英知を束ねるといったユニークな活動を続けている。また、1992年にかつての都電の車庫の跡地に建設された国連大学本部ビル（丹下健三氏設計）は青山通りに面したピラミッド型のビルとして都民に親しまれている。

しかし、国連大学はその活動が世界各地に点在する研究センターを中心に行われることや、大学といっても学生や学者を常時抱える教育機関というより、研究ネットワークの中心といった色彩が濃いこともあって、その存在は、設立以来30年を経過してもホスト役である日本国民になかなか理解されない、という悩みを抱えている。

そこで同大学のヒンケル学長は、テレビジャーナリスト出身で国連広報センター所長や外務報道官を勤めて、国連や日本外務省の広報にも詳しい高島氏を対外PR担当の学長特別顧問に任命して、国連大学の仕事と存在意義を積極的に広報することにしたものだ。

高島氏は当面非常勤で、国連大学の広報とメディア対応を中心に立案や助言をすることになっているが、就任に当たってその抱負を次のように述べている。「30年余り前、時の日本政府が積極的に誘致運動をしてようやく東京に迎え入れた国連大学は、日本の国際貢献を象徴する宝物です。その国連大学の仕事を広く日本国民の皆様にご存知いただき、支援していただくことは、人類をあらゆる恐怖と渴望から解放するという国連の究極の目標を実現する上で極めて重要と考えます。日本が国連に加盟してちょうど50年になる今年、国連の頭脳ネットワークとも言える国連大学の仕事にこうした形で関わられることを、とても嬉しく思っています」。

担当：国連大学広報部、谷野（やの）（電話：03-5467-1311；メール：media@unu.edu）。

以上



国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として、本部（東京）を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関です。1975年に開設され、今年30周年を迎えました。

PUBLIC ANNOUNCEMENT